

| | | | |
|--------------------------------|---|----|----------|
| 時間割番号／Registration No. | G2064 | | |
| 授業科目名／Course Title | 中等教科教育法Ⅳ(美術) | | |
| 授業科目名英語／Course Title | Teaching Methods in Fine Arts for Secondary Education Ⅳ | | |
| 担当教員名／Instructor | 竹内 晋平 | | |
| 単位数／Credits | 2 | | |
| 授業の方法／Type of class | 講義 | | |
| 目的／Course Objectives | 教育実習での成果と課題をもとにして中学校美術科の授業構築について考察し、鑑賞領域の学習指導案・題材(教材)を作成する能力を習得する。 | | |
| 到達目標／Course Goals | 中学校・高等学校美術科で扱う内容を理解し、主に鑑賞領域の学習指導案・題材(教材)を作成することができる。(知識・実践力) | | |
| Cuffet 項目／Cuffet | (学校教育教員養成課程) | 42 | 授業力ー学習指導 |
| 授業計画(内容と方法) ／Class schedule | 1)教育実習での学びの記録 2)実習授業における課題の抽出 3)鑑賞授業について① 発問とは？ 4)鑑賞授業について② 何を考えさせるのか？ 5)鑑賞授業の構造① 6)鑑賞授業の構造② 7)鑑賞授業の構造③ 8)教員養成実地指導講師による特別授業 9)鑑賞授業をつくる 10) 模擬鑑賞授業① 11) 模擬鑑賞授業② 12) 模擬鑑賞授業③ 13) 模擬鑑賞授業④ 14) 模擬鑑賞授業⑤ 15)まとめ | | |
| テキスト、参考図書、教材等 ／Textbooks | テキスト： 文部科学省『学習指導要領解説 美術編』, 日本文教出版, 2018 年 | | |
| 評価方法／Evaluation | ① 通常授業での学習成果物, 小レポート、模擬鑑賞授業(70-80%程度) ② 最終レポート(20-30%程度) 単位を認定するために必要となる規準は、以下のとおりである。 ・教育実習等の理由がない限り、初回授業に出席していること。 ・欠席が3回以内であること(遅刻は、欠席0.5回と数える。30分以上の遅刻は欠席。病気、けが、公式戦、演奏会なども欠席に含む。但し、インフルエンザなど「出席停止」状態のときは欠席に含まない。いわゆる「遅延証明書」等は受け付けない)。 ・欠席時には、事後に授業担当者から配布プリントや材料を受け取り、自宅で自学自習をすること。課題があれば、翌回に提出する。欠席のまま次週を迎えないようにすること。 | | |

| | |
|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・提出物の内容が一定水準以上であり、期限が守られていること。 ・グループ活動は、メンバーと協力して取り組んでいること。 <p>※ 忘れ物があった場合は減点の対象とする。</p> |
| <p style="text-align: center;">準備学習等 ／Preparation Learning</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習を終えた受講者は、実習授業の成果と課題をリストアップしておくこと。 |
| <p style="text-align: center;">受講上の注意, メッセージ等 ／Caution, Message</p> | <p>教育実習における成果と課題をもとに、教師と生徒とでつくる授業のあり方を考えます。本授業科目では表現と深い関係にある鑑賞授業の問題を扱います。明確な学習活動としての鑑賞授業をつくってみましょう。</p> <p>メールアドレス shimpei@nara-edu.ac.jp</p> |